

りそな 経済フラッシュ

(日本4月鉱工業生産)

◎注意事項をよくお読み下さい

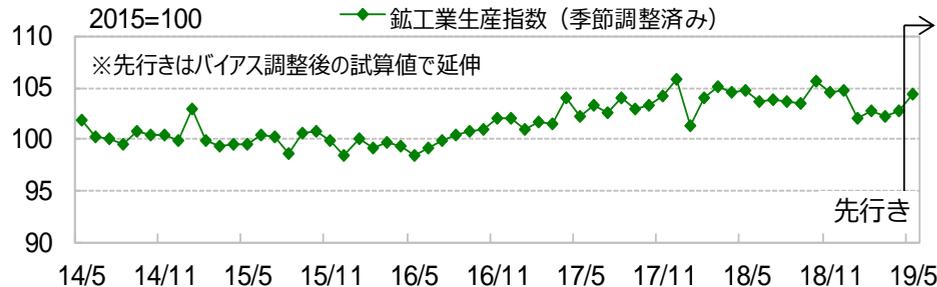


○概況

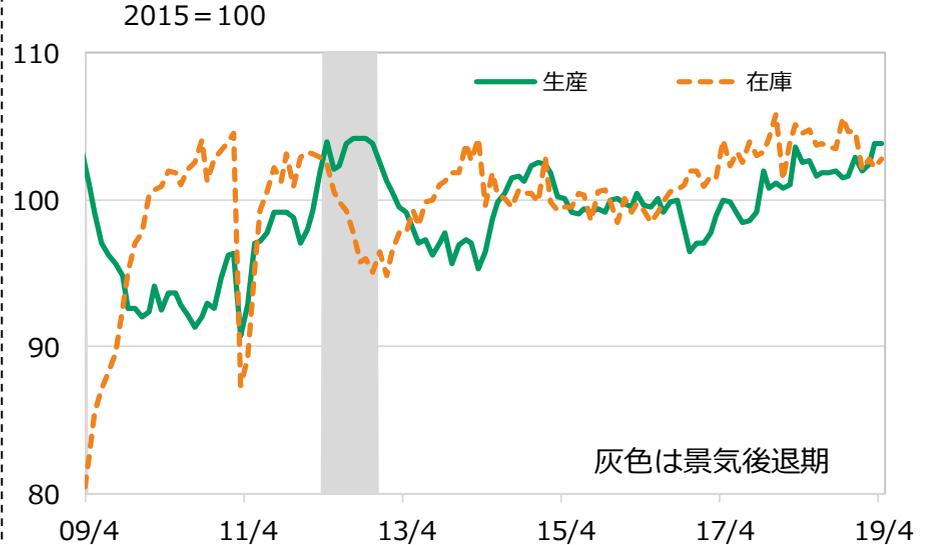
- ◆ 4月鉱工業生産、前月比+0.6%と上昇
- ◆ 基調判断は「一進一退」と上方修正
- ◆ 生産予測調査によると、5月持ち直しも6月は反動減の予想

- ✓ 4月の鉱工業生産は前月比+0.6%と、前月から上昇。出荷は+1.7%と上昇、在庫は+0.0%と横ばい。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は▲2.5%と低下。自動車の生産拡大が増加に寄与しているものの、半導体を含む電子部品・デバイスも依然弱含んでいる。
- ✓ 基調判断は前月の「このところ弱含み」から「一進一退」と上方修正された。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中10業種が上昇。生産用機械(+5.3%)、輸送機械(除、自動車)(+5.3%)、自動車(+3.2%)などが上昇。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中12業種が上昇。輸送機械(除、自動車)(+16.9%)、生産用機械(+5.5%)、自動車(+3.7%)などが上昇。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中7業種が低下。石油・石炭製品(▲3.2%)、金属製品(▲1.9%)、汎用・業務用機械(▲1.9%)などが低下。
- ✓ 予測調査では5月+5.6%、6月▲4.2%の見通し。(ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は5月+1.5%となる。) 4,5月の生産動向は堅調と見込まれるが、6月に反動減となる見通し。米中貿易摩擦の激化による悪影響も反映されている可能性もあり注意が必要。

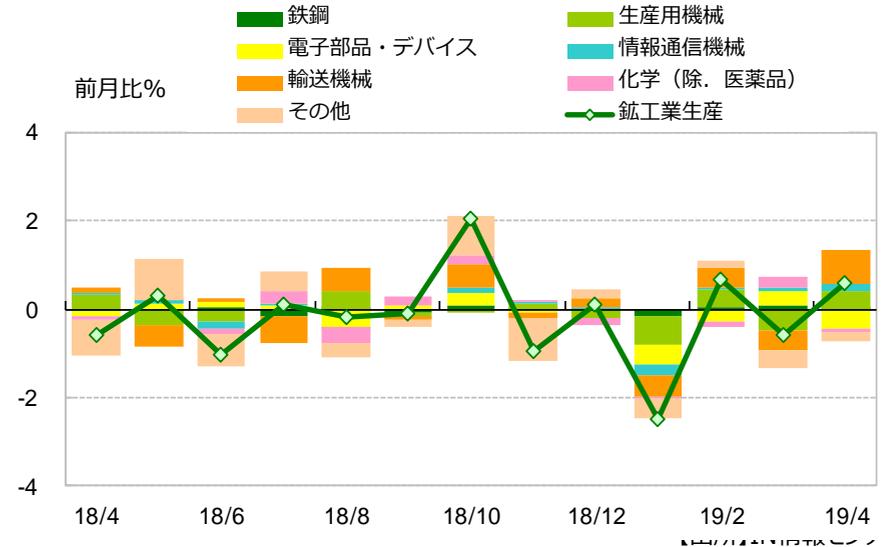
【鉱工業生産(指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。